

2022 年度 三浦外洋セーリングクラブ 基金総会・通常総会議事録

開催日：2023 年 2 月 15 日(火)19:00~19:40

場 所：新橋駅前ビル 1 号館 6 階 605 号ダ・ヴィンチ大会議室 + Zoom ミーティング

1. 開会の言葉

庄野理事より 2022 年度三浦外洋セーリングクラブ基金総会・通常総会開催の宣言があり総会が開始された。

2. 会長挨拶

飯島会長就任 1 年の感想があり、この 1 年抱えた課題 ORC レーティングの心配事、JSAF の加盟団体規定案の心配事などを取り上げ今後に対処していくとの挨拶があった。続いて、JSAF 定期表彰で当クラブが推薦したヨットデザイナー横山一郎氏が功労賞を受賞した報告があり、会場で横山氏より受賞スピーチがあり盛大な拍手が贈られた。

3. 定足数の確認

基金総会・通常総会が開催されるにあたり、司会の庄野理事から会員総数 249 名に対し 5 分の 1 以上 50 名以上の定足数が必要であるところ、会場出席者 17 名、ズームによる出席者 5 名、および委任状ならびに議決権行使書 84 名の合計 106 名となり、定足数を満たしていることから、本総会が有効に成立する旨の報告があった。

4. 総会議事録作成人として加藤理事、総会議事録署名人として臼田理事および五十嵐理事を指名した。

6. 議事

2022 年度基金総会

通常総会に先立ち、2022 年度基金総会が開催され、小板橋理事欠席のため坂口事務局長が議長となり 2022 年度の基金の収支決算資料を配布し報告をおこなった。2022 年度会員数が 246 名、基金収入が 246,000 円に雑収入を加え 246,176 円が積み立てられ、前期繰越金 10,912,220 円と合わせると、次期繰り越し金は 11,158,396 円になると報告があり、全会一致で承認された。

三浦セーリングクラブ通常総会

第 1 号議案 2022 年度事業報告および決算報告の件

坂口事務局長より 2022 年度の事業報告資料を配布し報告をおこなった。会員数、登録艇数の推移は会員 249 名、JSAF 登録艇数 85 艇であった。2022 年度の一般会計決算案は収入 1,706,014 円、支出 1,379,090 円 当期収支差額 326,924 円となった。この黒字部分は AED 購入費が継続して検討中のため予算を使わず持ち越しとなったためとの説明があった。JSAF 関係・基金については当期収入計 1,949,900 円 支出が 1,949,900 円で差額が 0 円になることが報告され、2022 年度決算は前期繰越金 8,743,360 円に 326,924 円を加え次期繰越金が 9,070,284 円となり、三井住友銀行日本橋支店と三菱 UFJ 銀行月島支店に貯金されていると報告があった。

○2022 年度事業報告

坂口事務局長から各委員会の活動状況が報告された。各委員会とも本年度は昨年引き続きコロナ禍で会議がリモートになったり、イベントも中止せざるを得ない活動状況であった。

(総務委員会)

全国外洋団体長会議、事務局長会議に岡崎へ出張参加。4 団体忘年会を実施。

コロナ禍を越えてレースが復活しつつあり会員数が戻り始めた。

(レース委員会)

小網代フリートレース、リビエラ湘南レース、リビエラ新春親善レース、相模湾オープン、石廊崎レース、トランス相模、若大将カップ、ショートハンド 123、小網代カップを開催。参加艇合計は 531 艇。外洋合同会議にもオンラインで参加した。

(ルール委員会)

B 級ジャッジ実践セミナー、B 級ジャッジ・ディングーレース実践研修、B 級ジャッジ資格者に資料を配布した。

(計測委員会)

ORC レーティング存続への働きかけ、IRC および ORC レーティング所得申請艇へのアドバイス、及び本部等に対する手続きを行なった。

(安全委員会)

講習会、体験会などはコロナ禍で中止。ライフraft の貸し出しは応募者なし。

(通信委員会)

みさきよとと局と加盟局（ヨット）との無線設備の交信を毎月確認。外洋レースの通信バックアップを実施。

「フリート」活動報告

・シーボニアフリート

リビエラ湘南レース、相模湾オープンを実施した。

・小網代フリート

毎月の小網代フリートレースを主催、小網代カップを実施した。

・佐島フリート

湘南レースに協力、Sail for Smiles ヨットレースは予定されなかった。

(事務局)

日常的会員サービス、会員管理、会費徴収、セーラーズ保険、艇登録、理事会総会準備、4 団体忘年会準備、ホームページおよび FB の更新を実施。

最川監事より、小川監事と最川監事により会計監査を実施し本決算書、貸借対照表は適正であると報告があった。

以上をもって、第 1 号議案は全会一致で原案通り承認可決された。

第 2 号議案 2023 年度事業計画および予算決定の件

坂口事務局長より 2023 年度の各委員会、フリートの事業計画が報告された。

(総務委員会)

通常の業務と JSAF コンプライアンス講習会への対応にも力を入れていく。

(レース委員会)

通常のレース開催と、小笠原レースへの協力、ショートハンドチャレンジ 123 が 5 月に外洋三崎との共同開催を予定している。

(ルール委員会)

今さら聞けないルールシリーズ継続、外洋合同委員会への参加を予定。

(安全委員会)

必要に応じて受講援助を行う。救急法、普通救命講習など。AED の装備に関しては継続して検討する。

(計測委員会)

必要に応じて計測や、ORCC および IRC の証書発行、事務手続きおよびアドバイス。

(通信委員会)

「みさきよと局」の交信状況確認、検査、外洋レースの通信バックアップ、総務省関東総合通信局へ加盟局の免許更新時における JSAF 加盟認証の有無の確認協力の陳情を行う。アンテナが折れた時などの緊急予備アンテナなどの準備も予定。

「フリート」

・シーボニアフリート

主幹レースを盛り上げる

・小網代フリート

主幹レースを盛り上げる

・佐島フリート

Sail for Smiles ヨットレースの開催予定はなし。湘南レースの運営に協力する。

(事務局)

例年通り会員の管理を行なっていく。

○2023 年度の一般会計予算案

坂口事務局長より 2023 年度の一般会計予算案の資料を配布し説明がおこなわれた。

収入の部は会員数がコロナが落ち着き若干増えると見込まれ、主催者保険もコロナ前の水準に戻りリビエラからの負担金を多く計上。ショートハンド 123 はパーティーが実施されていないため当期も余りの分配金が見込まれる。これにより 2023 年度の収入は 1,925,625 円を計上。2022 年度より約 20 万円の増収が見込まれる。

支出の部は主催者保険料がコロナ前の水準で 250,000 円を計上。理事会費用は引き続きオンラインとのハイブリットを実施する予定で 120,000 円を計上。AED について昨年度は購入を見送ったが、今期も予算に計上。その他としてライフraft の貸し出しをやめ、長距離航海支援制度（近海）として、ライフraft のレンタル費用を当クラブの会員サービスとして補助するための予算 150,000 円を計上。当期支出計 2,266,000 円となり当期収支差額 -340,375 円の赤字予算を組んだことが報告された。

以上をもって、第 2 号議案は全会一致で原案通り承認可決された。

○その他

関根顧問より、当クラブは営利団体ではないので一般会計黒字分約 900 万円を会員に還元してはどうかと指摘があり、今後理事会で審議していくことが確認された。

外山顧問より、会員への広報活動の充実を検討して欲しいと提案があった。また湘南サニーサイドマリナーが拡張しているので会員の勧誘を積極的におこなってはと指摘があった。

議長は、以上をもって本日の会場および Zoom のハイブリッドによる基金総会・通常総会を終了した旨を述べ、19 時 40 分閉会した。

以上の決議及び議事の経過を明確にするため、議事録署名人は次に署名する。

2023 年 月 日

議事録署名人

議事録署名人